

平成27年度第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成27年10月13日（火）10時00分～10時53分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	半藤 英明
文学研究科長	鈴木 元
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学名誉教授	渡辺 満利子
熊本県公立高等学校長会会長	宮崎 功
ワグザバー：アドミニストレーション研究科長	荒木 紀代子

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、坂本学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課福永班長

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成28年度入学者選抜における合格者の決定について

1）環境共生学部居住環境学科 自己推薦型入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「環境共生学部居住環境学科自己推薦型入試については、10月3日に試験を実施した。募集人員は4名。配点はプレゼンテーション及び質疑応答を含む面接で100点。志願者は17名で県内11名、県外6名、男性12名、女性5名。志願者全員が受験した。」との説明があり、続けて、堤環境共生学部長から、資料1-2に基づき、「上位4番と5番の受験者が同点であったため、両名を含む上位5名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2）大学院文学研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「文学研究科秋季募集については、日本語日本文学専攻博士前期課程の選抜試験を9月26日に実施した。募集人員は、秋季募集3名。志願者1名、受験者1名。志願者の選抜区分は、一般選抜及

び特別選抜の社会人、外国人留学生、専門職業人、シニアであり、今回の志願者は外国人留学生の1名であり、当該学生1名が受験した。なお、博士前期課程のうち、英語英米文学専攻の秋季募集の出願はなかった。

次に、英語英米文学専攻博士後期課程の試験については、9月26日に実施した。博士後期課程については選抜区分を設けておらず、募集人員は、秋季募集1名。志願者1名、受験者1名であった。なお、博士後期課程のうち、日本語日本文学専攻の秋季募集の出願はなかった。」との説明があり、続けて鈴木文学研究科長から、資料2-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程の外国人留学生特別選抜については、受験者1名が総得点の6割以上を満たしておらず、不合格としたい。また、英語英米文学専攻の博士後期課程については、受験者1名が総得点の6割以上を満たしており、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院アドミニストレーション研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、「アドミニストレーション研究科博士前期課程の選抜試験を9月26日に実施した。募集人員は秋季・春季合わせて20名。5名が志願し、全員が受験した。志願者の内訳は、一般選抜が2名、社会人特別選抜が3名。なお、博士後期課程については、秋季募集の出願はなかった。」との説明があり、続けて、荒木アドミニストレーション研究科長から、資料3-2に基づき、「博士前期課程の一般選抜受験の2名及び社会人特別選抜の受験者2名については、合格基準である総得点の6割以上に達しており、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成27年度「地（知）の拠点大学による地方創生事業（COC+）」の選定について

松添地域連携・研究推進センター長から、資料4に基づき、「熊本大学がCOC+大学（申請校）として申請を行い、9月28日に選定された。事業名は『“オール熊本”で取り組む熊本産業創生と雇用創出のための教育プログラム』であり、熊本県内の大学（8校）、産業（5団体）行政（熊本県）の関係機関が連携、協働し、県内の産業振興、雇用拡大、学卒者の地元定着率の向上に取り組むもの。事業期間は、平成27年度から31年度の5年間で、選定件数は40件。10月29日に熊本地方COC+推進協議会発足式、11月4日にキックオフシンポジウムを開催する予定。」との説明があった。

4 その他

次回日程 平成27年度第8回 11月16日（月）午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会